

災害医療センター

1. スタッフ構成

- 馬越 健介(救命救急センター長、災害医療センター長)
- 八木 草彦(消化器外科主任部長、救命救急センター副センター長、消化器病センター副センター長、災害医療部長)

2. 運営方針

当院は「基幹災害拠点病院」に指定されており、東南海・南海地震等の大災害に備え、愛媛県内の災害拠点病院、自治体、関係機関と協力し、愛媛県全域の災害医療体制の強化に取り組んでいます。また、愛媛県には原子力発電所があり、原子力災害医療の体制整備も必要です。福島第一原子力発電所事故を教訓にし、原子力災害医療体制の在り方を定期的に検討しています。

3. 実績

<過去の活動>

- ・ 2011年 3月 東日本大震災
- ・ 2011年 3月 福島原発事故
- ・ 2016年 4月 熊本地震
- ・ 2018年 7月 西日本豪雨
- ・ 2020年 7月 熊本豪雨

<訓練>

県内の災害拠点病院だけでなく、消防機関や行政等と連携する訓練を行っています。

- ・ 2023年07月 DMAT四国ブロック実動訓練(徳島県)
- ・ 2023年08月 愛媛県総合防災訓練
- ・ 2023年09月 内閣府大規模地震時医療活動訓練
- ・ 2023年10月 愛媛県原子力総合防災訓練
- ・ 2023年10月 松山市総合防災訓練
- ・ 2023年10月 中予地区消防長会合同訓練(特殊災害)

<講習会開催>

- ・ 愛媛県災害医療従事者研修会(MCLS標準コース、当院)
- ・ 災害看護研修会(県内の看護師対象、2023年12月)

4. 2024 年度目標

- (1) BCP(事業継続計画)に基づいた災害対応
 - ・ 感染症流行の教訓から得られたBCPの改訂
 - ・ 災害対策マニュアルの改訂(BCPと整合性のとれた院内災害対策マニュアルへ)
- (2) 原子力災害医療
 - ・ 原子力災害医療拠点病院としての整備
 - ・ 原子力災害協力機関研修の推進